

HORIBA

Explore the future

株式会社 堀場製作所

2020年12月期 連結業績予想 説明資料

常務取締役 管理本部長

大川 昌男

2020年6月9日

説明内容

1. 業績および配当予想公表に至る背景
2. 2020年12月期 業績予想
3. 地域別市場環境とHORIBAグループの状況
4. 資金の状況
5. 設備投資・研究開発投資の考え方
6. 株主還元政策

< 免責事項 >

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

1. 業績および配当予想公表に至る背景

- 2月14日 連結業績・配当予想公表
- 4月16日 連結業績・配当予想取り下げ
(上期・通期・配当)
- 5月20日 第1四半期決算発表
- 6月9日(本日) 連結業績予想再公表
- 8月11日(予定) 上期決算発表

- 各国における行動制限措置の緩和などを受けて、グループ各社の情報を集計・予測
- 現時点で入手可能な情報や予測等に基づき公表

2-1. 2020年12月期 業績予想

(単位:億円)

	2019 通期実績	2020					
		期首予想	今回予想			対前年増減	
			上期	下期	通期	金額	率
売上高	2,002	2,150	840	1,030	1,870	▲132	▲7%
営業利益	209	250	55	95	150	▲59	▲28%
営業利益率	10.4%	11.6%	6.5%	9.2%	8.0%	▲2.4p	
経常利益	205	245	55	90	145	▲60	▲29%
親会社株主に帰属 する当期純利益	154	175	40	65	105	▲49	▲32%
一株利益(円)	367	414			248	▲118	
ROE	9.3%	9.9%			6.1%	▲3.2p	

2-2. 2020年12月期 業績予想(セグメント別)

(単位:億円)

		2019 通期 実績	2020			
			2月14日 予想	今回予想 通期	対前年増減	
				金額	率	
売上高	自動車	810	850	680	▲ 130	▲16%
	環境	195	215	175	▲ 20	▲10%
	医用	253	270	230	▲ 23	▲9%
	半導体	471	525	525	+53	+11%
	科学	271	290	260	▲ 11	▲4%
	合計	2,002	2,150	1,870	▲ 132	▲7%
営業利益	自動車	64	75	5	▲ 59	▲92%
	環境	16	15	5	▲ 11	▲71%
	医用	13	15	2	▲ 11	▲85%
	半導体	107	135	135	+27	+26%
	科学	7	10	3	▲ 4	▲59%
	合計	209	250	150	▲ 59	▲28%

【セグメント別のトピックス】

<自動車、環境・プロセス、科学>

- 各国・地域での行動制限措置による製品出荷・検収の遅れが発生する恐れ
- 自動車やエネルギー産業をはじめとする市場の低迷に伴う影響を受けることから、販売減少を見込む

<医用>

- 新型コロナウイルス感染症拡大による一般患者数の減少により、病院での検査数減少など販売減少を予想

<半導体>

- 半導体メーカーの設備投資が回復
- 半導体製造装置メーカー向けの受注・販売は堅調に推移
- テレワークやデジタルビジネスの急激な拡大に伴い、半導体需要の増加を予想

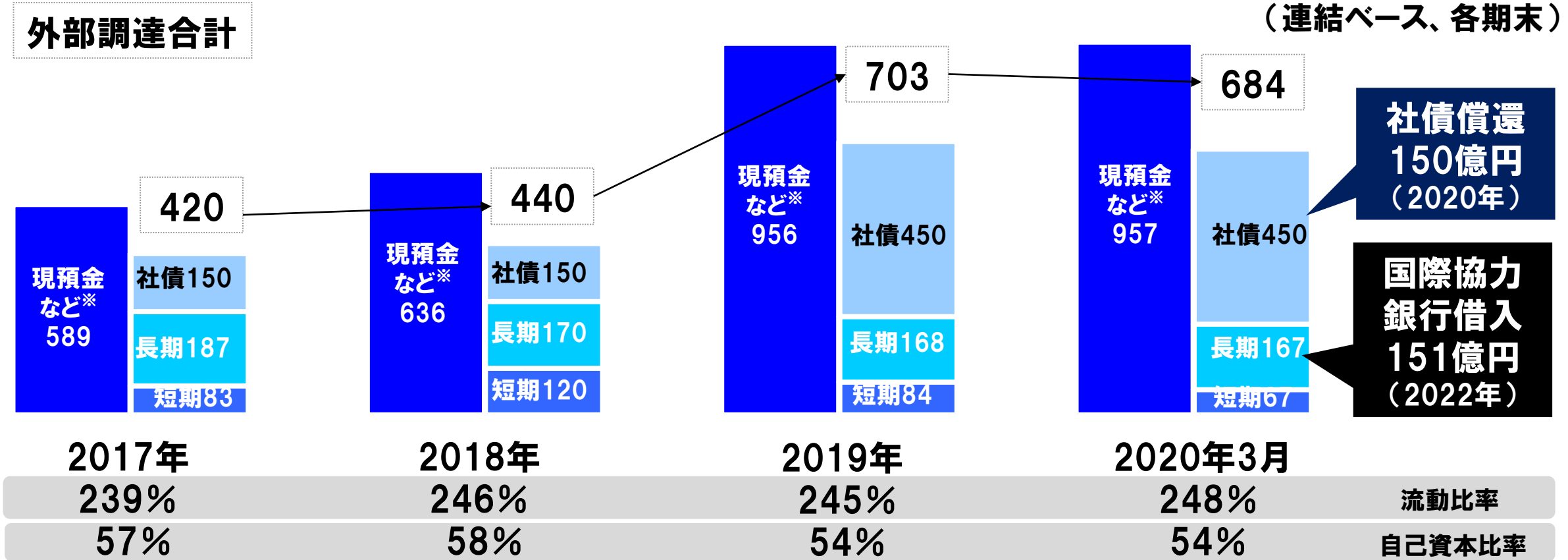
3. 地域別市場環境とHORIBAグループの状況

新型コロナウイルス感染症拡大による 地域別市場環境		HORIBAグループの状況		
		調達	生産	営業・販売
日本	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急事態宣言解除後、経済活動の本格回復に伴う販売復調を期待 			
中国・アジア	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中国等の東アジア地域では、事態の一足早い収束により、販売回復を期待 ■ 米中貿易摩擦の先行きを注視 			
米州	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経済活動再開・推進も、事態収束懸念 			
欧州	<ul style="list-style-type: none"> ■ 行動制限措置が解除され、経済活動が再開 			

(2020年6月9日現在)

4. 資金の状況

(単位:億円)



- ・グループ内貸付による外部借入金削減
- ・直近の格付け: R&I 「A」(2019年10月)、JCR 「A+」(2019年10月)

※現預金など…現金及び預金

5. 設備投資・研究開発投資の考え方

■ 設備投資

- 長期視点に基づいた戦略的な投資は継続
 - ✓ 中国新工場など大型設備投資も継続、スケジュールを精査中
- 更新投資などを精査し、緊急性の高いものから実施

■ 研究開発投資

- 需要回復期を見据えて、投資を継続
- 投資の優先順位付けを検討

- ✓ 現時点では通期計画は未定
- ✓ 第2四半期決算発表時に公表予定

6. 株主還元政策

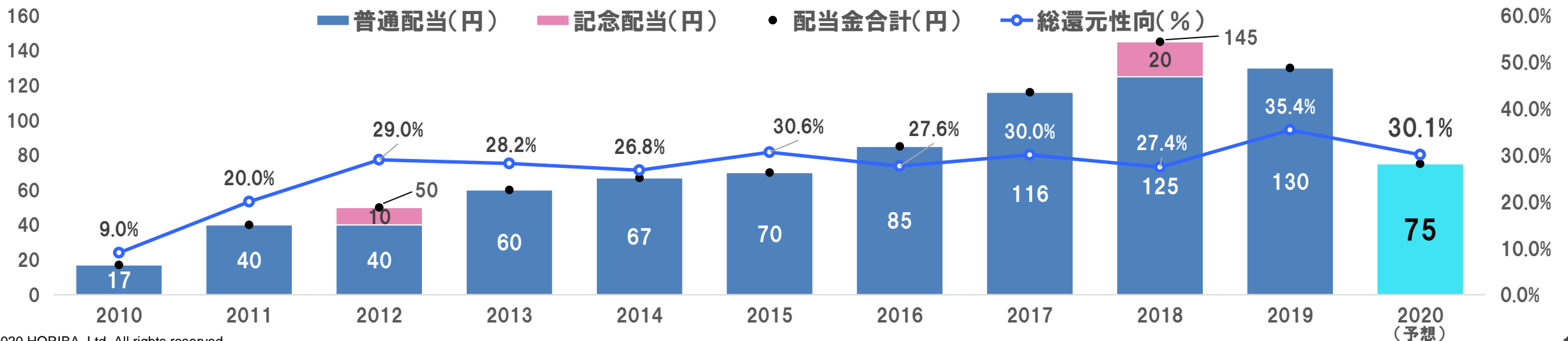
基本的な考え方

- 配当金＋自己株式取得 = 連結純利益×30% を目処
- 残りは戦略的投資資金として内部留保(設備投資・M&Aなど)

配当金及び自己株式の取得

- 2018年実績 145円 [中間 50円、期末 95円(うち記念配当20円)]
- 2019年実績 130円 [中間 50円、期末 80円]
- 2020年予想 75円 [中間 30円、期末 45円]

過去11年の配当推移



ご清聴ありがとうございました。

[参考] 2020年12月期 業績予想(セグメント別)

(単位:億円)

		2019 通期 実績	2020					
			2月14日 予想	今回予想			対前年増減	
				上期	下期	通期	金額	率
売上高	自動車	810	850	265	415	680	▲ 130	▲16%
	環境	195	215	85	90	175	▲ 20	▲10%
	医用	253	270	110	120	230	▲ 23	▲9%
	半導体	471	525	260	265	525	+53	+11%
	科学	271	290	120	140	260	▲ 11	▲4%
	合計	2,002	2,150	840	1,030	1,870	▲ 132	▲7%
営業利益	自動車	64	75	▲ 13	18	5	▲ 59	▲92%
	環境	16	15	2	3	5	▲ 11	▲71%
	医用	13	15	1	1	2	▲ 11	▲85%
	半導体	107	135	65	70	135	+27	+26%
	科学	7	10	-	3	3	▲ 4	▲59%
	合計	209	250	55	95	150	▲ 59	▲28%